

今年はついにユネスコ再審査の年。例年であれば7月～8月に、2人の審査員がユネスコから派遣され、室戸市にやってきます。室戸の地域資源（地質・自然・文化）を守り、それを地域でどう活用し、それが室戸をどう良くしていくのかを一緒に考える機会になります。日ごろからジオパーク活動に尽力している地域のみなさんご協力をぜひお願いします。

ユネスコ再審査の目的とは？

室戸市は2011年9月に世界ジオパークネットワークへの加盟が認定されました。現在はユネスコ正式事業となったジオパークですが、「認定されて終わりではない」という点が特徴です。「室戸市全域がユネスコ世界ジオパーク」と聞くと、「場所」の認定だと思いがちですが、評価基準は「室戸の地域の活動」です。どんなに国際的に素晴らしい地質遺産があっても、それを地域の教育やツーリズムに活用する取り組みがないと、ユネスコ認定はされません。ですから「室戸の活動は止まってないか？おもしろい取り組みが生まれているか？」と4年に1度確認する作業が、「再審査」という言葉で表現されています。

「再審査」を意味する元の英単語は“Revalidation”です。“re”は「再び」、「validation」は「検証」とか「確認」という意味があります。「審査」と言われると、「室戸は評価される立場」と思われるかもしれませんが、決してそうではありません。ユネスコから派遣される「審査員」と言われる方々も、どこかのジオパークで地質学者や事務局員として勤務していたりします。「うちの活動どうかな？この部分がうまくいかなくて困っちゃう」という相談の場として利用していただいてもOKなんです（実際わたしたちは、こういう話を再審査時にしています）。

再審査の日程はこの記事が紙面掲載される前後に決まる予定です。日程が決定次第、室戸ジオパークのFacebookページ（下記QRコード）でお知らせします。



2019年再審査時・佐喜浜の津波避難タワーにて

浜ストレッチ×室戸ジオパーク実施報告

日常から少しだけ離れ、室戸の雄大な自然の中で癒しを提供することを目的とした「浜ストレッチ」。Think Sustainability Projectの主催で、尾崎海岸でのストレッチと民宿徳増で素敵なランチが楽しめるプログラムです。2022年度の1年間、この団体と連携し、浜ストレッチ終了後、尾崎海岸の清掃に参加した方のプログラム参加費の一部を室戸ジオ推進協が負担しました。その目的は、1) 浜ストレッチの参加者増と使用する海岸の美化活動、2) ジオパーク活動に関わる機会がなかった層への情報発信です。



参加者の1人が浜ストレッチ終了後、「海岸にゴミが多いから」とゴミ拾いをするようになったのが連携のきっかけでした。これまでのべ27人の方がこの活動に参加し、回数を追うごとにサーファーなど参加人数が増えていったと聞いています。「みんなが使う海をみんなできれいに」とよく聞きますが、継続は難しいです。それを楽しみながら実現できた1つの成功事例として報告します。

■【お問い合わせ先】

室戸ジオパーク推進協議会事務局 ☎ 22-5161

6月8日は世界海洋デー



日本で「海の日」というと7月の第3月曜日ですが、全世界共通の海の日があります。それが6月8日の「世界海洋デー」（2008年に国連総会にて制定）。ユネスコ認定を受けている室戸でも、何らかのアクションが求められます。「その日だけ活動して意味あるの？」と聞かれることがあります。今日「今日は世界海洋デー」とSNSで発信するだけでも意味はあると思います。その投稿をきっかけに、すぐ目の前のある海に目を向ける方がいるかもしれません。一人一人の意識を少しでも、海の環境保全に向けたきっかけの日だと思ってください。

室戸ジオパークでは、6月11日（日）に室戸岬での海岸清掃を実施します。「この日だけ何かしても…」ではなく「この日くらい、何かしようか」という気持ちで参加していただけたら嬉しいです。

【日時】6月11日（日）9：00～10：00

【場所】室戸岬ラポール横駐車場

【注意】雨天順延（実施可否はFacebookにて発信）

【連絡先】Email:info@muroto-geo.jp（担当：勝田）

※軍手やゴミバサミなどはこちらで用意いたします。



Youtube



Facebook



Twitter



Instagram